

＋トピックス

「山形大学医学部健康大使」に 橋本マナミさんを任命!!

山形大学医学部では、健康大使として、山形出身の女優橋本マナミさんを任命しました。今後、医学・医療・福祉のシンボルとして、当学部を取り組むを応援していただきます。

「山形大学医学部健康大使」とは？

山形大学医学部では、山形県、山形市それぞれと連携・協力に関する協定を結び、相互の緊密な協力と連携により、地域医療の向上と健康・安心のまちの実現を目指しております。

「山形大学医学部健康大使」とは、山形を代表する著名な方々から山形における「健康」、「医療」について応援・メッセージをいただくことで、県内外を問わず、広く健康の重要性や健康対策に取り組んでいただくための活動になります。



寄 附 の お 願 い

山形大学医学部では、重粒子線がん治療による地元の福祉の向上・発展のために、寄附金の募集を行っております。皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

●税制上の優遇措置について

【1】寄附者が個人の方の場合

本基金は、所得税法第78条第2項第2号に基づき財務大臣が指定した寄附金(昭和40年4月30日大蔵省告示154号)に該当しますので、特定寄附金として、次の寄附金控除額を総所得金額等(総所得金額、退職所得金額及び山林所得金額の合計額)から控除できます。

●寄附者の顕彰

(1万円以上ご寄附いただいた方々を対象)

ご厚意に感謝の意を含め、ご寄附いただきました方々のご芳名を建設予定施設およびホームページに承諾の上、掲載させていただきます。

〔寄附金控除額〕

A・Bのいずれか低い方の金額－2,000円＝寄附金控除額

A：その年に支出した特定寄附金の合計額

B：その年の総所得金額等の40%相当額

【2】寄附者が法人の場合

本基金は、法人税法第37条第3項第2号に基づき財務大臣が指定した寄附金(昭和40年4月30日大蔵省告示154号)に該当しますので、全額損金に算入することができます。

【3】この税法上の優遇措置を受ける場合は、本学から後日送付される領収証明書が必要となります。

お問い合わせ

- 発 行 元：山形大学医学部 次世代型重粒子線治療装置研究開発室 室長 嘉山孝正
- 電 話：023-628-5872(担当：川田)
- 住 所：〒990-9585 山形県山形市飯田西2-2-2
- 受付時間：午前9時～午後5時(土日祝日は除く)
- U R L：http://www1.id.yamagata-u.ac.jp/MIDINFO/nhpb/
- Eメール：heavy-ion@mws.id.yamagata-u.ac.jp



山形大学医学部 東日本重粒子センター East Japan Heavy Ion Center

重粒子線治療について患者さんと市民、医療関係者の情報共有くらぶ

2017年
創刊号

01

＋建設状況について



完成予想図

2020年春の 治療開始を目指し 建設工事スタート!!

2017年4月より医学部キャンパス内で重粒子線治療施設の建設が始まりました。

2020年春、治療開始を目指しております。



2017年11月の建設現場の様子

＋情報誌発行にあたって



最良の先端医療を求めて。

山形大学医学部参与
国立がん研究センター名誉総長
山形大学医学部次世代型重粒子線治療装置研究開発室長

嘉山 孝正
Kayama Takamasa

山形大学医学部では、2005年から重粒子線治療装置の導入を計画し、2012年4月に「山形大学重粒子線がん治療施設設置準備室」を設置、補正予算獲得後の2015年に「次世代型重粒子線治療装置研究開発室」と改め、重粒子線がん治療の未来を見据えた「次世代の重粒子線がん治療システム：山形モデル」の研究開発に取り組んでまいりました。重粒子線がん治療は日本の優れた「がん医療」と科学技術の融合により、実用化された放射線がん治療です。患者さんやご家族が安心して治療に専念できる態勢、一人一人に最適な治療方針、未来の治療を切り開くための挑戦、予防につながる研究…。

「人に優しく、未来を見据えた山形大学医学部」。そう認知していただけるよう、長年にわたり一歩一歩、研さんを重ねてきました。

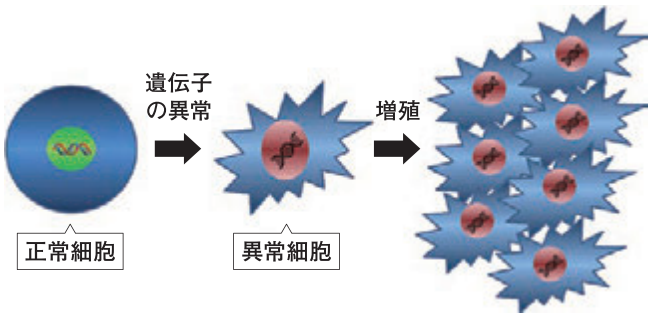
本プロジェクトに対する地元の期待は大きく、山形県、山形市、東根市をはじめ35市町村や、東北経済連合会、地元一般企業や個人の方からも多大な支援や絶え間ない声援が寄せられ、皆さまのご厚意に心から感謝いたすとともに、東北圏総意のプロジェクトである事の実感と責任を感じております。

日本で生まれた重粒子線がん治療を、ここ山形から広く海外へ発信していきたいと考えております。今後も皆様のご支援をお願いしたいと願っています。

重粒子線がん治療の特徴

“がん”って何？

“がん”の本質は遺伝子の異常です。私たちの体を構成する基本単位である細胞の中心に核があります。その核の中には体の設計図となる二重らせん構造の遺伝子がありますが、この遺伝子が傷ついて異常細胞の増殖が止まらなくなってしまう状態が“がん”という病気です。



What's

重粒子線がん治療とは？

重粒子線がん治療は体の外から放射線（炭素イオン線）を照射し、“がん細胞”の遺伝子を壊して治療する「外部放射線治療」の一つです。治療に際して痛みは無く、身体的な負担はほとんどありません。

重粒子線がん治療の特徴

重粒子線は、他の放射線（陽子線やエックス線）に比べて以下の利点があります。

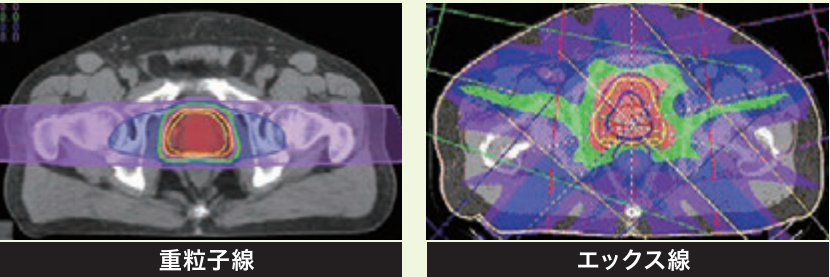
- 1 効き目が強い

陽子線やエックス線に比べ破壊力が強く、例えば、今までエックス線が効きにくいとされてきた骨肉腫にも効果を発揮します。
- 2 周りに当たらない

“がん腫瘍”に集中的にダメージを与え、周りの正常範囲にはダメージが少ない治療です。
- 3 短期間で治療できる

陽子線やエックス線と比べ、照射回数が少なく、概ね半分以下の短い期間で治療できます。

〔 照射範囲の違い(重粒子線とエックス線) 〕



重粒子線のほうがエックス線より正常範囲に当たらずターゲット（黄色の線の範囲）に集中しています。

〔 照射回数の例 〕

部位		従来の放射線治療 (エックス線、ガンマ線)	重粒子線治療
肝臓のがん		10～20回	2～4回
肺のがん	I 期	4～22回	4～12回
	局所進行	30～40回	16回
前立腺のがん		35～40回	12回
すい臓のがん		25～30回	8～12回
頭頸部・骨軟部のがん		30～40回	16回

広域連携への取り組み

東北・新潟の6大学病院を訪問

山形大学医学部では、東北・新潟の大学病院に、山形大学の重粒子線治療事業を知ってもらい、がん治療の強力な一手として積極的な利用を呼びかける活動を開始しました。



8/8 弘前大学医学部附属病院
若林医学部長 福田病院長

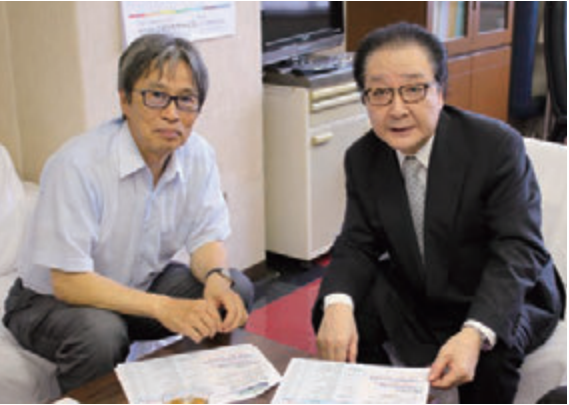


8/31 東北大学病院
八重樫病院長



10/25 新潟大学医歯学総合病院
高橋大学長 高橋理事 鈴木病院長

※日程調整結果順



7/20 岩手医科大学附属病院
杉山病院長



8/29 福島県立医科大学附属病院
齋藤病院長 鈴木教授



9/26 秋田大学医学部附属病院
尾野医学部長 羽瀨病院長